

令和6年度 つくば国際大学東風高等学校 自己評価表

教育目標	「ひたむき」「誠実」「謙虚」の学校づくり 社会人として求められる確かな学力や豊かな人間性を身につけさせ、自己の将来を見つめた職業観・勤労観に基づく進路実現を支援すると共に、「国際性・社会性・実用性」を重視した教育を推進し、国際的視野を持った、社会に貢献できる人材の育成に努める。			
目指す学校像	1 生徒・教職員、共に学び続ける学校 2 生徒・教職員の信頼関係が構築された学校 3 懇切丁寧な指導・きめ細かな指導を実践する学校 4 一人ひとりの個性に応じた多様な進路実現が図れる学校 5 地域・外部機関と連携し、生徒の興味関心を引き出す活力のある学校			
重点項目	重点目標			達成状況
学習指導の充実	新しい教育課程が学年進行で実施され3年目となり、その変化に対応した指導内容と指導方法の研究を継続して実施する。			
	(1)	教師としての教科の専門性、指導技術の向上を図るために、「学び続ける教員」としての自覚をもち、日々研鑽に励む。	A	B
	(2)	「楽しく・わかりやすい授業」にすべく、校内研修(研究授業)や自主研修(教材研究)に励み、教科の指導内容、指導方法の工夫・改善を図り、授業を充実させる。	B	
	(3)	本年度をICT教育4年目と位置づけ、教科指導にiPadや電子黒板等のICT機器(ツール)を積極的・効果的に活用し、「楽しく・わかりやすい授業」を実践する。	A	
	(4)	少人数指導や習熟度別指導を生かして懇切丁寧な指導・きめ細かな指導を行い、基礎的基本的な内容や発展的な内容の定着を図る。	B	
	(5)	生徒の家庭学習の習慣化を図り、予習・復習の学習習慣を定着させ、確かな学力の向上を図る。	B	
	(6)	課外授業の充実を図ると共に、生徒の 自学 学習を支援し、生徒自身の学びを深める。	B	
キャリア教育の推進	(1)	自分の将来設計・将来展望の中に建設的に上級学校等への進路を位置付け、自分の将来に対して夢や希望が持てるよう指導する。	A	A
	(2)	キャリアガイダンス、キャリアカウンセリング、進路別見学会、進路講演会、大学出前授業などの機会を提供し、進路(進学・就職)に対するしっかりとした動機付けを図る。	A	
	(3)	個々の生徒の進路希望、学力の実態及び今後の発展性などを常に把握しながら、より上位の進路目標を設定させ、その達成に向け全力を傾ける。	B	
健全な心身発達を目指した教育の推進	(1)	生徒への気配り・心配りなどの配慮を旨とし、生徒理解のための教員と生徒との一対一の関係を重視した教育相談を日常的に実施し、生徒との信頼関係を構築して、心の教育を推進する。	A	B
	(2)	はるかぜ道徳を通して、人間としての在り方・生き方の教育を推進し、豊かな人間性を育む。	B	
	(3)	東風クラブや 委員会活動 、学校行事、部活動などの特別活動を推進し、生徒間の交流を活性化させ、生徒の自主的・実践的な態度や社会性、自尊感情・自己有用感などの人間性を育む。	A	
	(4)	ボランティア活動や挨拶・服装等の向上を図るマナーアップ運動を展開し、社会人として必要なルールやマナーの基礎を育てる。	B	
	(5)	基本的生活習慣の確立を基礎とし、食事のあり方、睡眠、運動等をの自己の健康に目を向け、健全な心身の発達を目指す。	B	
不登校生徒や発達障害の傾向を持つ生徒への支援の充実	(1)	不登校生徒や発達障害の傾向をもった生徒に対して、学校あげて全教職員が一致協力して組織的に対応する。その集約は、教育相談担当教員が行い、具体的な対応の方策を提案する。	A	A
	(2)	不登校生徒に対して、担任、教育相談担当教員及びスクールカウンセラーが定期的にカウンセリングを行い、また、家庭訪問や電話連絡を通して保護者との連携を密にし、外部の相談機関などの協力を得ながら、ケース会議を開いて具体的な係わりを明確にし、不登校の改善を図る。	A	
	(3)	発達障害の傾向を持つ生徒に対して、その障害の把握と理解を図り、ケース会議を開いて個々の生徒への関わりを明確にし、全教職員の共通理解のもとに対応し、その対象生徒が安定した学校生活を送れるようにする。	B	
開かれた学校作りへの挑戦と募集定員の確保	(1)	広報誌(学校案内、各種パンフレット)を発行し、また、 学校 ホームページを充実させることにより、 一般の方々にも届く新しいタイプ の情報発信を積極的に行う。	A	A
	(2)	学校行事(東風祭、芸術鑑賞会など)や授業(教科、道徳など)を地域や保護者、中学生などに一般公開することにより、本校の教育活動の理解と周知を図る。	B	
	(3)	中学校や塾の教員対象の説明会を実施し、また、中学校や塾を積極的に訪問することにより、中学校や塾との連携強化と教員との信頼関係の構築を図る。	A	
	(4)	中学生や小学校高学年の児童生徒及びその保護者に本校の特色と魅力を認知してもらうための新規学校主催行事を実施する。	A	
	(5)	学校見学会、入試説明会及び入試対策学習会を実施し、本校への入学の動機づけを強固なものとする。	A	